

平成19年度

事業報告書

平成20年6月

財団法人関西文化学術研究都市推進機構

目 次

| | | |
|----------|-------|-----|
| . 概 況 | | 1 |
| . 管理運営活動 | | 2 |
| . 広報活動事業 | | 3 |
| . 企画調整事業 | | 4 |
| . 受託調査事業 | | 1 1 |

概況

関西文化学術研究都市は、昭和62年に制定された「関西文化学術研究都市建設促進法」に基づき、ナショナルプロジェクトとして、産学官の連携のもと、都市建設が進められ、現在、本都市はサード・ステージの段階に入った。

平成19年9月には「サード・ステージ推進会議」第2回総会において「サード・ステージ・プラン」の実現化に向け、今後取り組むべき13のテーマ及びその推進体制が合意され活動を展開した。具体的には、本都市の情報発信力の強化、一体的な都市運営、持続可能社会の実現等をキーワードとして、「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの実施、平城遷都1300年記念事業との連携に向けた取り組み、生活支援ロボット実証実験等の活動を行った。

また、国際化に関わる交流事業としては、本都市と交流促進協定を締結している中国北京市・中関村科技園区へ本都市代表団が平成19年5月に訪問し、現地で「交流フォーラム」を実施した。

施設立地については、関西経済の好転並びに研究開発型産業施設及びベンチャー企業の誘致等により、平成19年度に入ってから新たに8施設が立地し、施設数が100の大台を突破した。

こうした中、本都市の開発・基盤整備も順調に進展しており、平成19年5月には精華町の祝園駅西特定土地地区画整理事業が完了し、まちびらきが行われ、6月にはJR木津駅東口駅前広場が完成するなど生活の利便性が向上した。

[参考：平成19年度新規立地施設（8施設）]

- 平成19年4月 広和工業株式会社（精華・西木津地区）
- 5月 植田工業株式会社（氷室・津田地区）
- 5月 坂本精器株式会社（氷室・津田地区）
- 7月 日本伸縮管株式会社（精華・西木津地区）
- 7月 東英産業株式会社（精華・西木津地区）
- 8月 株式会社島川製作所（氷室・津田地区）
- 10月 株式会社枚方技研（氷室・津田地区）
- 平成20年1月 サイレックス・テクノロジー株式会社（精華・西木津地区）

・管理運営活動

<理事会、評議員会等の開催>

本年度の各会議体で以下のとおりの議案審議を行い、全ての議案において、異議なく承認された。

(1) 理事会

第63回理事会(平成19年6月14日(木)けいはんなプラザ)

- 第1号議案 平成18年度事業報告
- 第2号議案 平成18年度収支決算
- 第3号議案 評議員の選任
- 第4号議案 総合企画委員会委員の選任
- 第5号議案 運営委員の選任
- 第6号議案 事務局組織規程の改正
- 第7号議案 決裁規程の改正

第64回理事会(平成20年3月17日(月)けいはんなプラザ)

- 第1号議案 平成19年度ケータイ関連ベンチャー企業の事業展開促進補助事業の実施
- 第2号議案 平成19年度補正収支予算
- 第3号議案 平成20年度事業計画
- 第4号議案 平成20年度収支予算
- 第5号議案 会長、理事長及び常務理事の選任
- 第6号議案 評議員の選任
- 第7号議案 総合企画委員会委員の選任
- 第8号議案 運営委員の選任

(2) 評議員会

第42回評議員会(平成19年6月6日(水)京都東急ホテル)

- 第1号議案 平成18年度事業報告
- 第2号議案 平成18年度収支決算
- 第3号議案 役員の選任
- 第4号議案 事務局組織規程の改正
- 第5号議案 決裁規程の改正

第43回評議員会(平成20年3月13日(木)京都東急ホテル)

- 第1号議案 平成19年度補正収支予算
- 第2号議案 平成20年度事業計画
- 第3号議案 平成20年度収支予算
- 第4号議案 役員の選任

(3) 運営委員会

第50回運営委員会(平成19年5月21日(月)けいはんなプラザ)

- ・第42回評議員会及び第63回理事会の議案について審議

第51回運営委員会(平成20年2月29日(金)けいはんなプラザ)

- ・第43回評議員会及び第64回理事会の議案について審議

(4) 学術委員会

第28回学術委員会総会(平成19年10月6日(土)けいはんなプラザ)

- ・学術委員会で討議すべきテーマについて

(「サード・ステージにおけるサステナビリティを巡る諸問題」、「市民との連携に関する諸問題」、「学研都市を軸とする大学連携の拡大、特に人文社会系研究者・学部学生の交流の強化」をテーマとして、引き続き企画運営小委員会で討議することとなった。)

企画運営小委員会 計4回開催

< 関西文化学術研究都市建設推進協議会の運営 >

本都市の建設理念に相応しい都市建設を目指し、その早期実現を図ることを目的として活動している関西文化学術研究都市建設推進協議会の事務局として、関係府省等に対して、政府予算要望活動等を実施した。

(重点要望事項)

- ・サード・ステージ・プランに基づく推進施策の実施
- ・科学技術基本計画に基づく施策の本都市への展開
- ・新産業創出基盤強化のための学術・研究開発機能の高度化
- ・ユビキタス特区の設置
- ・次世代ロボット研究開発の推進
- ・都市建設の促進
- ・文化機能の充実

・ 広報活動事業

1. 定期刊行物の発行事業等

本都市の状況を周知するとともに、本都市建設の促進に資するため、関係者及び一般の方々に、本都市のイメージ、計画、事業の進捗状況及び推進機構の活動状況等の広報を行った。

(1) 機関誌の発行

月報「関西文化学術研究都市」の発行(月1回)
月報集刷版「関西文化学術研究都市」の発行(年1回)

(2) 都市紹介ビデオの更新(日本語版、英語版、中国語版)

(3) インターネットによる広報

本都市の魅力を積極的に発信していくため、学研都市ポータルサイトを運営した。

2. 関西文化学術研究都市視察会の実施

本都市への理解と協力を得るため、賛助会員や本都市を支援していただく方々を対象とした本都市視察会を実施した。

< 関西文化学術研究都市視察会 >

[主催] (財) 関西文化学術研究都市推進機構

[日程] 平成20年2月14日(木)

[視察先] オムロン京阪奈イノベーションセンタ、同志社大学学研都市キャンパス、大和ハウス工業総合技術研究所、福寿園CHA研究センター

[参加者数] 14企業・団体 20名

3. 都市視察対応

本都市への施設立地促進並びに理解と協力を得ることを目的として、国内外の視察希望者、関係団体等に対し、立地施設等の協力のもと、本都市の紹介、各文化学術研究地区の整備状況等の視察案内を実施した。

| | | |
|--------------------------|-------|------|
| 国、地方自治体、関係団体等の方々に対する視察案内 | 延べ32件 | 259名 |
| 欧州、アジア等諸外国関係者の方々に対する視察案内 | 延べ19件 | 206名 |

4. メディア活用広報の実施

ニュースリリース発行等によりメディアを活用した広報活動を実施した。

. 企画調整事業

1. サード・ステージ・プランの着実な実行

関西文化学術研究都市サード・ステージ・プランの着実な実行を図り、都市としての総合力の発揮や高度な都市運営に取り組むために、平成18年度に設置されたサード・ステージ推進会議の事務局として、関西経済連合会、国土交通省、3府県等とともに、以下の会議を開催するなどの活動を行い、サード・ステージ推進会議の各

取り組みテーマの進捗状況及び課題、平成20年度の活動方針について審議した。

< 総会 >

第2回(平成19年9月10日(月)けいはんなプラザ)

[主な議事] サード・ステージ推進会議当面の活動方針、各取り組みテーマの進捗状況

< 推進企画会議 >

第2回(平成20年3月28日(金)中之島センタービル)

[主な議事] サード・ステージ推進会議取り組み状況及び平成20年度取り組み方針案

< 基本政策委員会 >

第3回(平成19年8月9日(木)中之島センタービル)

[主な議事] サード・ステージ推進会議での各取り組みテーマ毎の進捗状況及び課題について

第4回(平成20年1月30日(水)けいはんなプラザ)

[主な議事] サード・ステージ推進会議での各取り組みテーマ毎の進捗状況及び課題について

2. 「科学のまちの子どもたち」プロジェクト実施

サード・ステージ・プランの実現に向けて、「ITを活かした新たなネットワークソサエティ形成」、「学研都市としての魅力づくり・都市ブランドの強化～体験し学ぶ観光の展開」、「学研都市を一体化した新たな運営体制づくり」の3テーマが相互に連携した事業として、平成19年10月、学研都市内の学校、立地機関、NPOをメンバーとするワーキング会議にて発足し、平成20年2月には、本都市の市民と研究者が交流を深める取り組みとしてフォーラムを開催した。

< 「科学のまちの子どもたち」フォーラム2008 >

[日程] 平成20年2月16日(土)

[内容] 学校関係者に主要な研究機関の研究内容を紹介するとともに、研究者との出会いと対話の場を提供、学校関係者、研究所職員、一般市民ら約70名が参加した。

3. 実証実験フィールドの展開に向けた取り組み

平成19年7月に「けいはんな生活支援ロボット実証実験推進協議会(事務局: 関西文化学術研究都市推進機構及びけいはんな新産業創出・交流センター)」を設立し、生活支援ロボットの実証実験を研究機関とともに実施し、研究者と市民の交流、住民参加型の取り組み、情報発信等を実施した。

< ロボット実証実験実施 >

- [日程] 平成19年7月23日(月)～8月31日(金)
[場所] イオン高の原ショッピングセンター(木津川市相楽台)
[内容] 来訪者をジェスチャーや音声で案内する実証実験を実施した。

4. 中国・北京市中関村科技園区との交流会の実施(ゆめはんな1周年記念事業の一環)

平成17年11月に本都市と中国北京市・中関村科技園区との間で締結した交流促進協定に基づき、両都市間の具体的な交流を推進するため、関西文化学術研究都市代表団が平成19年5月23日～26日の間、中国・北京市中関村科技園区を訪問し、現地で「交流フォーラム」を実施した。

<交流フォーラムの概要>

- [日程] 平成19年5月24日(木)
[場所] 中国・北京市中関村科技園区 北京新世紀日航飯店
[代表団] 関西文化学術研究都市代表団 総勢 29名
(団長:立石義雄(財)関西文化学術研究都市推進機構理事長)
[内容] 中国側発表テーマ
「中関村科技園区投資融資の現状及び関連政策措置」
「大学科技園の運営モデル紹介～清華科技園の経験交流」
「共同促進環境保護新エネルギー技術研究開発及び応用、手を携えて人類存在圏の安全を擁護」
「用友の創新及び国際化の道を歩む」
日本側発表テーマ
「関西文化学術研究都市の歴史と展望」
「関西学研都市における同志社大学の活動」
「地球温暖化防止技術～日本の動向～」
「ここまでの、音声翻訳技術」
[参加者数] 関西文化学術研究都市代表団、中関村科技園区立地企業・研究機関、大学関係者、関係自治体等 約180名

5. けいはんな新産業創出・交流センターの管理

優れた研究成果の事業家促進、産学公住連携等による産業育成、国際交流等の事業を行う「けいはんな新産業創出・交流センター」の管理法人として活動した。

6. 「平城遷都1300年記念事業」との連携に向けた取り組み

2010年に「平城宮跡地区」で実施される記念事業を契機として学研都市における資源の連携活用及び学研都市全体の活動等に係る情報発信を目的とする「平城遷都1300年記念事業連携推進会議」の設置に向け、準備会を2月に開催した。

また、同協会が発行した「奈良県修学旅行ガイドブック」の作成協力を行った。

7. 立地施設交流事業の実施

本都市に立地する施設間の交流を深めるとともに、都市建設の促進及び連携を図るため、立地施設等を対象として、「けいはんな学研都市立地施設懇談会」等の交流活動を実施した。

<けいはんな学研都市立地施設懇談会視察会>

[日程] 平成19年4月17日(火)

[場所] 私のしごと館

[参加者数] 24名

[日程] 平成19年7月18日(水)

[場所] 国立国会図書館関西館

[参加者数] 43名

[内容] けいはんな学研都市内の大学や研究機関等の関係者参加し、学研都市共通の情報発信の場の設置の課題解決に向け、視察会を行った。

<けいはんな学研都市技術系トップ懇談会>

[日程] 平成19年4月25日(水)

[場所] 日本原子力研究開発機構関西光科学研究所

[内容] 大学・研究施設等から18名が参加し、共同研究や産学官連携等について意見交換を行った。

<けいはんな学研都市新年賀詞交歓会>

[日程] 平成20年1月11日(金)

[場所] けいはんなプラザ

[内容] 立地施設、開発・交通関係、関係行政機関等から180名が参加し、交流を図るとともに情報交換を行った。

8. けいはんな立地促進企画事業

本都市への研究施設等の誘致を促進するため、けいはんな新産業創出・交流センターをはじめ関係機関等との連携のもと、施設立地環境の情報発信及び企業情報の収集、施設誘致PR活動に取り組んだ。

(1) 外資系企業誘致の取り組み

外資系企業誘致を図るため、京都府、京都市、京都商工会議所等の企業誘致担当部門で構成する「京都外国企業誘致連絡会」に参画し、都市内外で外国企業へのアプローチを積極的に行った。

(2) 中小・ベンチャー企業誘致の取り組み

ビジネスフェアへの出展等

新聞社、民間企業等が行うビジネスフェア等に参加し、本都市のPR活動を展開した。

(出展した展示会等)

・11月 ベンチャー・エキスポ2007

[場所] 大阪国際会議場

[内容] 企業誘致と学研都市ベンチャー活動PR出展

平成19年度ケータイ関連ベンチャー企業の事業展開促進補助事業の実施

ケータイ関連ベンチャー企業の事業展開促進を図るため、セミナー等の開催により、中小機械工業の新規事業展開及び連携を推進するため実施した。

[主催] ケータイ国際フォーラム推進会議

[日程] 平成20年3月12日(水)～13日(木)

(第7回ケータイ国際フォーラムとあわせて実施)

[場所] けいはんなプラザ

[内容] アジアビジネスセミナー(アジアケータイビジネスの最新動向)
技術セミナー(最新ケータイ技術の実用化による新たな生活文化の創造)

ケータイビジネスプラザ(ケータイに関する最新の製品、技術、サービス等の展示会を開催)

[参加者数] 企業関係者等4,300名

9. けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会の運営

「けいはんな情報通信オープンラボ」を有効活用し、産学官連携による情報通信分野の研究開発を推進することにより、新技術の開発、人材の育成、新産業の創出を図ることを目的にしている同研究推進協議会の事務局として、独立行政法人情報通信研究機構、総務省近畿総合通信局、関西経済連合会とともに活動を行った。

<けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2007>

[日程] 平成19年12月7日(金)

[場所] 東京ミッドタウン

[内容] 取り組みや研究成果を展示やデモンストレーションを通じて、新世代ネットワークやユニバーサルコミュニケーションの将来の利用イメージに関して意見交換を実施した。

[参加者数] 178名

<けいはんな情報通信オープンラボワークショップ2008>

[日程] 平成20年3月27日(木)

[場所] けいはんなプラザ

[内容] 協議会下の新世代ネットワーク分科会とユニバーサルコミュニケーション分科会の研究活動及び研究成果と関連するNICTの研究活動を紹介し

た。

[参加者数] 92名

10. けいはんなメーリングリストの運用

本都市に携わる機関・施設・大学で従事する人々の学術・研究又はそれに関わる情報を他のメンバーに周知し、交流の自主的な促進を図った。

[メンバー] 1,739名

[投稿数] 1,530件(平成18年度実績1,227件)

11. けいはんな都市賑わい創出事業

本都市のPR強化及び住民や研究者の参加・交流による賑わい創出を図るため、本都市の共同PR事業として秋の「オータムフェスタ2007」、春には、「ラ・プリマベラ2008」を関係機関と協力して実施した。

<けいはんな学研都市オータムフェスタ2007>

イベントカレンダーの作成など共同広報活動を実施した。

[開催期間] 平成19年9月15日(土)~12月2日(日)

[構成イベント数] 142件

[主要イベント]

高等研公開講演会

「生きているということ~やわらかな生命~」

関西文化学術研究都市6大学連携「市民公開講座2007」

奈良先端科学技術大学院大学公開講座2007

観月の夕べ

<けいはんな学研都市ラ・プリマベラ2008>

イベントカレンダーの作成など共同広報活動を実施した。

[開催期間] 平成20年3月15日(土)~5月31日(土)

[構成イベント数] 121件

[主要イベント]

ゆめはんなサイエンス・ワークショップ

IIAS・RITE・オムロン 第3回合同見学会

12. TBI(Technological Business Innovation)技術経営セミナー2007の開催

技術を事業の核とする企業・組織が次世代の事業を継続的に創出し、持続的に発展するために、創造的かつ戦略的なイノベーションをマネジメントする技術経営(MOT)幹部向けセミナーを同志社ビジネススクールと共催で実施した。

[日程] 第1週:平成19年6月15日(金)~17日(日)

第2週:平成19年7月6日(金)~8日(日)

[場所] 同志社ビジネススクール

[内容] 技術からの価値実現戦略

第1週：「技術、マーケット、組織能力」

第2週：「イノベーション・パラダイムとイノベーション・マネジメント」

[講師] ロバート E. コール

(UCバークレー校名誉教授 同志社大学客員フェロー)

藤本隆宏(東京大学大学院経済研究科教授)

アンドリュー M. アイザックス

(UCバークレー校MOTプログラムエグゼクティブディレクター)

高井紳二(同志社大学商学部教授)

D. ヒュー ウイッター

(オークランド大学ビジネススクール教授 同志社大学客員教授)

山口栄一(同志社ビジネススクール教授)

フィリップ ビオジェル(同志社ビジネススクール教授)

北 寿郎(同志社ビジネススクール教授)

山口 薫(同志社ビジネススクール教授)

中田喜文(同志社ビジネススクール教授)

[参加者数] 22社25名

13. 関西文化学術研究都市6大学連携「市民公開講座2007」の開催

けいはんなから「知の発信」をキーワードに、本都市の6大学が共同企画して、一般市民向けの市民公開講座を開催した。

[主催] 関西文化学術研究都市6大学連携「市民公開講座」実行委員会

(財)関西文化学術研究都市推進機構、奈良先端科学技術大学院大学、同志社大学、同志社女子大学、大阪電気通信大学、関西外国語大学、大阪国際大学)

[日程] 平成19年11月3日(土) 10日(土) 17日(土)

[場所] けいはんなプラザ

[内容] 第1回「『ニーベルンゲンの歌』とドナウ河畔の町パッサウ」

「アルツハイマー治療の展望」

第2回「『宮崎アニメ』はなぜ繰り返し「城」を描いてきたのか？

- 『天空の城ラピュタ』から『ハウルの動く城』まで - 」

「変革が迫られる日本 ITとイノベーションを中心に 」

第3回「植物が細胞を増やす仕組み」

「宇宙を満たす「暗黒物質」?!」

[参加者数] 延べ220名

14. けいはんなフィールドミュージアム構想の実現に向けた取り組み

本都市地域の豊かな自然・環境資源、歴史・文化資産を活用したけいはんなフィールドミュージアム構想の実現に向けて、都市内8市町及び当推進機構で構成するけいはんなフィールドミュージアム運営委員会のもとで、ホームページによる情報発信などの取り組みを実施した。

<けいはんなフィールドミュージアム2007の実施>

[日程] 平成19年10月27日(土)

[内容] 木津川市が誕生したことを記念し、約100年前に開通、わずか9年間で廃線となった「大仏鉄道」の遺構を巡り、JR木津駅～加茂駅間の約10kmのウォーキングイベントを実施。

[参加者数] 146名

15. 関西文化学術研究都市内研究機関等における研究実態調査の実施

本都市内に立地する研究機関等における研究活動情報の共有化と学術・研究活動の一層の活性化を促進し、都市内及び近畿一円の学術・研究に係る主体的な連携・交流の拡大を図るため、平成18年度事業を対象とした研究実態調査を実施した。

. 受託調査事業

1. サード・ステージ・プラン実現化方策調査 [委託者 京都府、大阪府、奈良県]

サード・ステージ・プランにおける「産官学連携・産業創出への取り組み」を加速することを目的に、国等の競争的資金等の活用を視野に入れた具体的な産業化に向けた連携戦略の構築に資するため、立地機関及び周辺企業の研究開発動向等に関する基礎的調査を実施した。

2. サードステージにおける都市建設のあり方検討調査 [委託者 国土交通省]

本都市の今後10年間の取り組みの方向を示した「サード・ステージ・プラン」の実効性を確保するため、策定にあたり議論された学研都市の建設・運営に係る課題等を踏まえ、クラスター整備の今後のあり方についての方針整理及び新たな文化学術研究分野の構築に向けた推進体制の構築について、具体化に向けた検討調査を実施した。

3. 関西文化学術研究都市における研究開発能力の発揮に向けたシステム構築に関する調査 [委託者 国土交通省]

我が国における国際研究開発拠点として位置づけられた関西文化学術研究都市における研究開発力の発揮に向けて、本都市の国際化への対応に求められる連携方策及び情報発信のあり方について検討調査を実施した。

4. 木津地区モニタリング調査他 [委託者 都市再生機構]

木津地区自然環境検討会の検討結果を踏まえ、木津中央地区及び木津北地区を中心とした木津地区に関するオオタカモニタリング調査等を実施した。

